

令和2年度(2020年度)第1回経営戦略会議の概要

議 題	1. 経営戦略方針の進捗状況 2. 新型コロナウイルスをふまえた今後の自治体経営
日 時	令和2年(2020年)6月3日(水)10:00~11:00
場 所	豊中市役所 第一庁舎3階 第二応接室
出席者	市長、副市長、都市経営部長、総務部長、財務部長 経営改革専門委員(生駒委員、小谷委員、高橋委員、野田委員)
概要	経営戦略方針の進捗状況、今後の自治体経営についての意見・提案

<主な意見>

<1. 経営戦略方針の進捗状況>

- ICT を活用した取組みの必要性がより高まっている。今後、市役所サービスは対面も残しつつ、オンライン化できるところは変えていくという、アナログとデジタル両方の発想が必要である。
- 男性の育児休業、在宅勤務などが進んでいるのは良いこと。コロナ状況下でより進むのではないか。
- 財務戦略について、将来に借金を残すことになる補償や給付を慎重に行うなど、投資の優先順位や重点を考えるべき。中途半端な投資は、効果が希薄化する。
- 戦略5の子ども施策や南部地域活性化に向けた取組みは、進めていくべき
- 感染者管理などのデータ把握等については、民間との連携、オープンイノベーションが有効である。
- 広報戦略について、市長が個人 SNS などで発信するとインパクトが大きく、市民も一丸となれるのではないか。

<2. 新型コロナウイルスをふまえた今後の自治体経営>

- 教育のオンライン化、南部地域活性化、事業者の救済策の3点に重点投資を続けていくべき。
- タブレット教育については、内容の充実が大事。市内の企業と教育コンテンツを共同作成してはどうか。
- 教育のオンライン化については、システムの配備とともに、教員のITスキル向上への人的支援が必要。

- ❁ 市民の安心・安全、命に関わることへの投資が必要。さらに近隣の飲食店や自家用車で訪れられる範囲での観光をターゲット化する等、社会経済の維持も共存させていくべき。
- ❁ 空港周辺の宿泊施設など、厳しい状況が続くであろう。人の移動に伴うビジネスを展開する企業との一定の議論が必要。
- ❁ 感染者情報など、危機管理面の管理への重点投資が市町村レベルでもより必要になるのではないかな。
- ❁ 今後、公民連携が大切。オープンデータの提供や施設内の wifi 環境の整備などにより、豊中市に事業所が集まってこられる環境整備を行ってほしい。まずは南部地域で実験的に進めていければよい。
- ❁ 自治体と企業が連携協定を結んでいけば、非常時もスピード感をもって行動できる。
- ❁ これまで出来ないと思っていたことが、出来るようになったことを皆が認識している。市職員は将来像を肌感覚で予測し、それを施策化していくことが重要である。
- ❁ 市長のリーダーシップは大切。豊中市ならではの新しい施策を打ち出してほしい。
- ❁ デジタルシフトが進む中で、様々な情報をより効率的に取捨選択できるようになる。そのなかで、反精神主義(効率化を重んじる)、反手続き主義(はんこ文化の抑制)、本質主義(物事や人の話をより本質的に見極めていく)が進んでいくのではないかな。